

## 開き扉用緩衝パーツ サイドダンパー

本製品は、開き扉において、閉じる扉と本体との衝突の際の衝突音、衝撃をやわらげるものです。

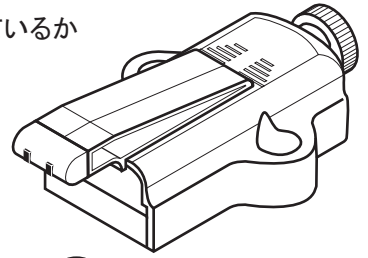
この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用いただけますよう、  
お願い申し上げます。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

### 使用上のご注意

- 木製収納の開き扉用です。(ガラス、金属製扉は不可)
- 取付部は、木芯がある(ネジの締め付けが最後まで効く)部分に取り付けてください。
- 引き込み(扉が閉まる)機能付き丁番と一緒にご使用ください。
- 緩衝装置の効き具合(効き過ぎて扉が閉まらない、効かなさ過ぎてバンと音がする)は、調整ネジで調整してください。
- オイルダンパーを使用しています。本体に油が付着しているのを発見したら、油漏れの可能性があります。直ちにダンパー本体を取り外し、新しいモノと交換してください。

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。

サイドダンパー本体  
2ヶ



取付ネジA 4本  
(TP スクリュー 6.3\*15.5)  
先端が平らです



取付ネジB 4本  
(バインドタッピング 3.5\*16)  
先端が尖っています



注意

取付手順に従い、ネジなどで確実に止め、取付けてください。不十分ですと使用中に製品が落下し、ケガをする恐れがあります。

- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 取り付けの際はお子さまに注意して行ってください。
- 取り付け説明書に従って取り付けてください。取り付け手順を間違えると正常に機能しない場合があります。
- 取り付けの際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。

### 使用工具

以下の工具をご用意ください。

+ドライバーno.2(中)

キリ



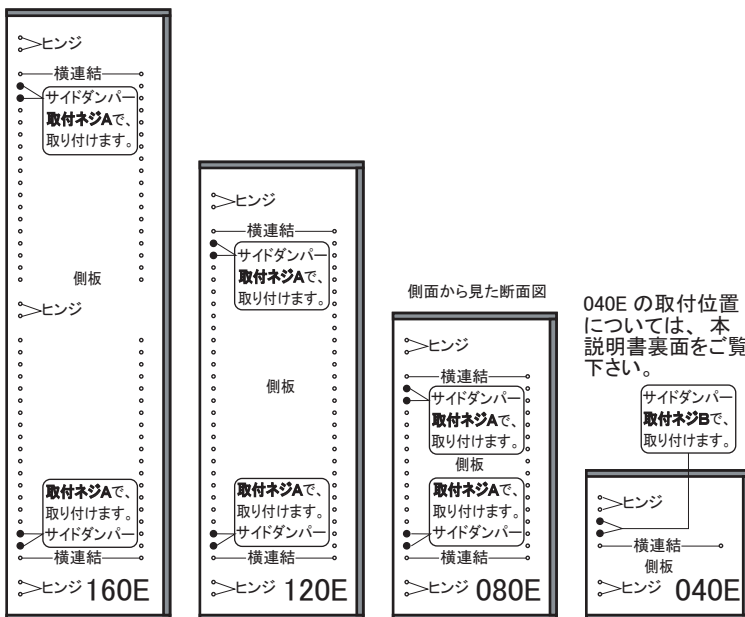
## 取付場所 (fantoni ストレージの場合)

ガラージfantoniストレージの場合です。

取付可能機種

GF-160E、120E、080E、040E

GL-160E、120E、080E、040E



サイドダンパー  
必要数-4ヶ

サイドダンパー  
必要数-4ヶ

サイドダンパー  
必要数-4ヶ

サイドダンパー  
必要数-2ヶ

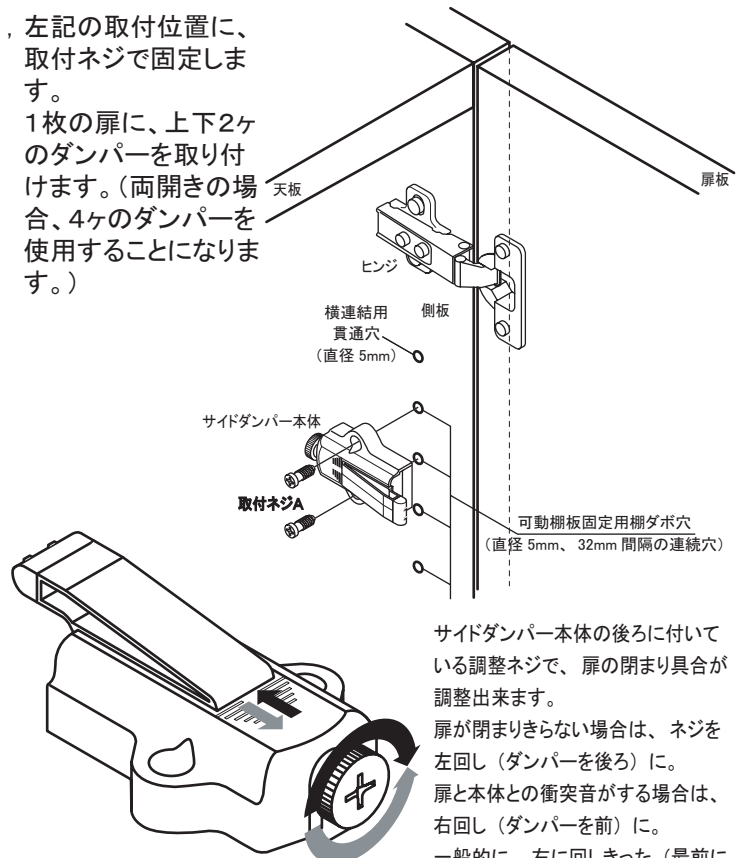
※ ヒンジのキャッチ力(扉が閉まろうとする力)を減衰するための製品ですので、ヒトの手で勢い良く扉を閉めたときに、効果が感じにくい場合があります。

※ 扉の重量・施工状況により効果が異なる場合があります。

※ 温度の変化によって、作動が若干異なる場合があります。

## 取付方法 (fantoni ストレージの場合)

- 1, 左記の取付位置に、取付ネジで固定します。  
1枚の扉に、上下2ヶのダンパーを取り付けます。(両開きの場合、4ヶのダンパーを使用することになります。)



サイドダンパー本体の後ろに付いている調整ネジで、扉の閉まり具合が調整出来ます。

扉が閉まりきらない場合は、ネジを左回し(ダンパーを後ろ)に。

扉と本体との衝突音がする場合は、右回し(ダンパーを前)に。

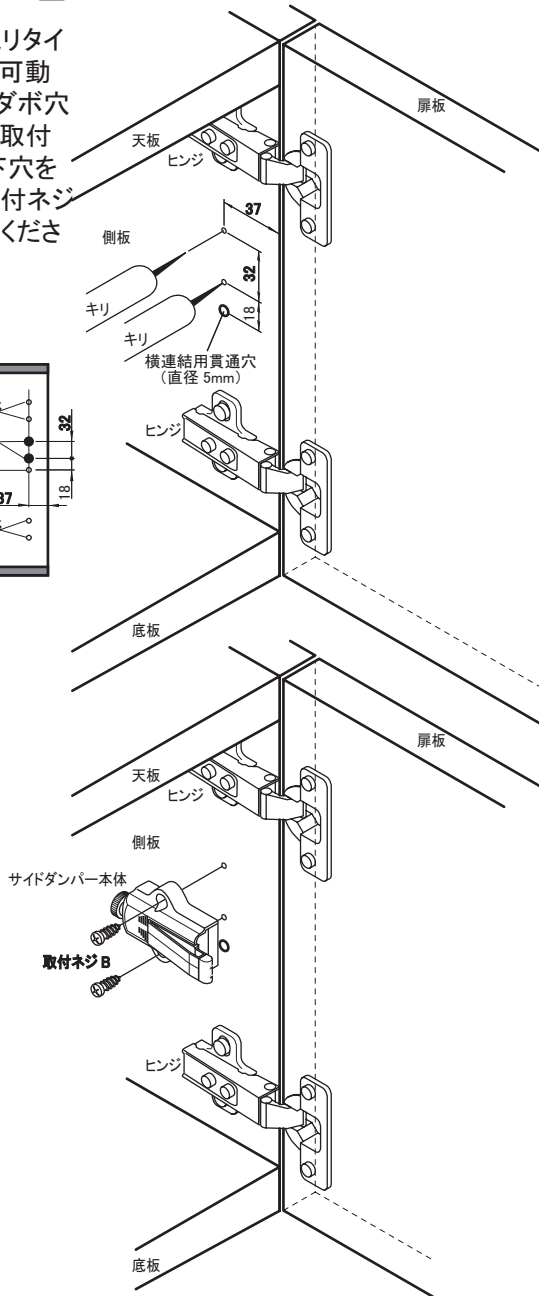
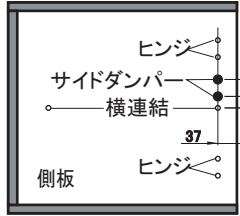
一般的に、右に回しきった(最初に

する)状態で、ダンパー効果が出るようになっています。

その後、ご使用状況により異なりますが、ヒンジのキャッチ力(引き込み力)が弱くなりますので、左回し(ダンパーを後ろに下げていく)調整をするのが一般的です。

## 取付方法一2 (fantoni ストレージの場合)

2. 上置きH400ミリタイプ(040E)には、可動棚板固定用棚ダボ穴がありません。取付位置にキリで下穴をあけてから、取付ネジBで取り付けてください。

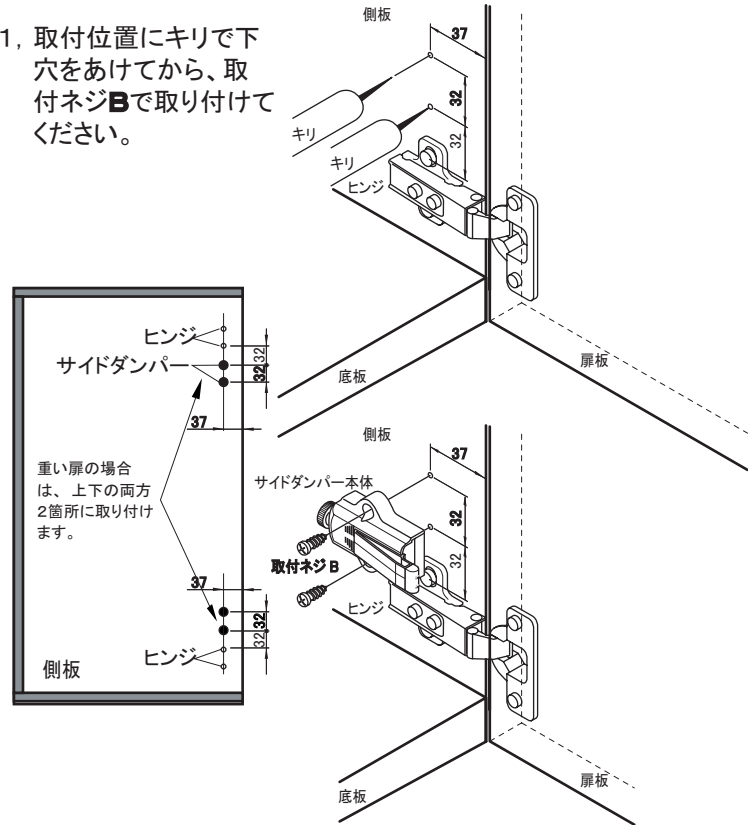


※ ヒンジのキャッチ力（扉が閉まろうとする力）を減衰するための製品ですので、ヒトの手で勢い良く扉を閉めたときに、効果が感じにくい場合があります。  
 ※ 扉の重量・施工状況により効果が異なる場合があります。  
 ※ 温度の変化によって、作動が若干異なる場合があります。

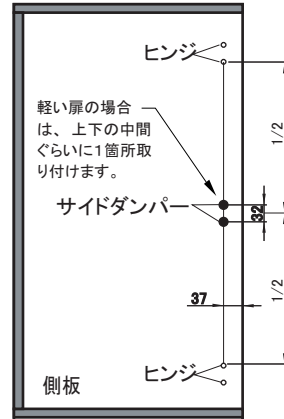
## 取付場所方法一3 (一般的な収納の場合)

●ベタ芯の扉（重い扉）の場合は、1枚の扉に、2ヶのサイドダンパーを取り付けてください。その場合は、ヒンジの上下両方に1ヶずつ取り付けてください。重い扉で、1ヶだけの取付では、ダンパー効果を充分発揮しません。

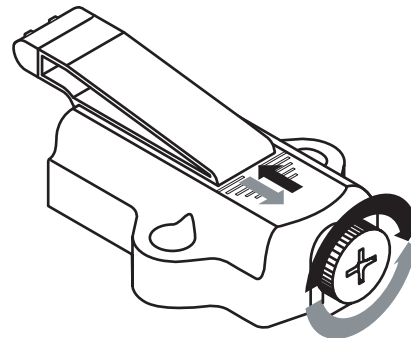
1. 取付位置にキリで下穴をあけてから、取付ネジBで取り付けてください。



●一般的なフラッシュ扉（軽い扉）の場合は、1枚の扉に、1ヶのサイドダンパーを取り付けてください。その場合、取付は、上下のヒンジの上下中間ぐらいの位置に取り付けます。両開きで、各1ヶずつ計2ヶ必要です。軽い扉で、1枚の扉に、2ヶのサイドダンパーを取り付けると、扉が閉まりきらなくなります。



取り付けは、上記ベタ芯の扉の場合と同様に、  
 1. キリで、下穴をあける。  
 2. 取付ネジBで取り付けてください。



サイドダンパー本体の後ろに付いている調整ネジで、扉の閉まり具合が調整出来ます。  
 扉が閉まりきらない場合は、ネジを左回し（ダンパーを後ろ）に。  
 扉と本体との衝突音がする場合は、右回し（ダンパーを前）に。  
 一般的に、右に回しきった（最前にする）状態で、ダンパー効果が出ているようになっています。

その後、ご使用状況により異なりますが、ヒンジのキャッチ力（引き込み力）が弱くなりますので、左回し（ダンパーを後ろに上げていく）調整をするのが一般的です。